

今日の例会 [2472th] 2019. 3. 14

会員卓話

山村 義美 君

前回の例会 [2471th] 2019. 3. 7

一般社団法人 高島青年会議所
第41代 齋藤 浩氏
理事長

- ・点鐘12時30分 吉田 弘二 会長
- ・国歌 君 が 代
- ・ロータリーソング 奉仕の理想
- ・ソングリーダー 若林 智次 君
- ・S A A 金子 良弘 君

会長あいさつ

吉田 弘二 会長

皆さんこんにちは。

本日は、卓話のお客様として（一社）高島青年会議所 第41代 理事長 齋藤浩様をお迎えしました。多忙な中でのJC活動に敬意を表したいと思います。後ほど、スピーチよろしくお願ひします。

さて、3月と聞くと思ひ起こされるのが8年前の3月11日午後2時46分ごろに発生した東北地方太平洋沖地震です。マグニチュード9.0最大震度7の日本周辺における観測史上最大のとてつもなく大きな地震でした。東京でも震度5強、青森から静岡にかけて震度5以上を観測するなど、大きく、非常に長い揺れが東北を中心にした広いエリアを襲いました。この地震により、最大波高10m以上の津波が発生し東北と関東の太平洋沿岸部に壊滅的な被害を生みました。これにより発生した災害及びこれに伴う福島第1原子力発電所事故による災害を東日本大震災と呼ばれております。その日の午後私は、仕事で屋根の上にはいましたが、下に降りて5分後位でした。足元からドーンと突き上げるような音と衝

撃があり、部屋のペンダント照明器具が横に大揺れし天井にぶつかるほどでした。家全体が揺れ潰れるような感じで柱にしがみついているのが精一杯でした。何が起こったのか理解できませんでした。あの時まだ屋根の上にとららと思うとゾッとします。皆さんの中にもそのような思いをされた方が居られると思います。死傷者、行方不明者あわせると約25,000名にもなります。お亡くなりになられた15,900名のご冥福をお祈りしたいと思います。自然の猛威のまえに人は無力ですが被害をいかに少なくするかを常に考えておかなければなりません。喉元過ぎれば熱さを忘れるのが人の常です。この大震災を教訓に、早い非難行動が出来るように、家庭や地域自主防災会で訓練をしていく必要があると思います。近い将来に又、このような大災害が起こるといわれております。東日本大震災を風化させることなく未来に向け対応していきましょう。とにかく災害が起こらないことを願ひします。

《幹事報告》

黒澤 嘉徳 幹事

- ・2019年度米山奨学生サブ世話クラブの募集案内が届いております。
- ・ロータリーレート：1ドル = 110円

スマイルBOX

- ・会員誕生祝 黒澤 嘉徳 君
- ・結婚祝 若林 智次 君・加藤由香里 君
- ・ゲストの齋藤君の来訪に感謝して。 若林 智次 君

ゲストスピーチ

一般社団法人 高島青年会議所
第41代 齋藤 浩氏
理事長



皆さま改めましてこんにちは。

ご紹介いただきました、一般社団法人高島青年会議所 第41代理事長を務めております齋藤と申します。皆さま宜しくお願いいたします。

始めに自己紹介をさせていただき、今年の青年会議所の基本方針だったり、各事業の紹介をさせていただきたいと存じます。

先ずは私、1979年生まれ40歳でございます。高島青年会議所が発足した年に生まれました。家族構成としては、妻、息子が中学1年生、娘が小学3年生の4人家族でございます。大浦英樹さんの方から職業を紹介して頂きましたが、「有限会社 東 邦」という会社を営んでおります。事業内容としては、先程あった通りプレハブ関係の建築と鉄骨関係の建物の建築の事業をしております。メインはほぼプレハブ事業の方で、大手ゼネコンの現場仮設事務所、仮設宿舍、震災時における応急仮設住宅の建設をしております。北海道から九州まで全国を回っているそんな会社でございます。そんな事もありません。その中で、高島青年会議所の理事長をお引き受けするに当たり、これから益々私自身も成長して行かなければならないと思っておりますし、高島の事も勉強して皆様に伝えていけるそんな人にならなければいけないと思っております。

今年の高島青年会議所の方針としまして、3つの委員会を設けております。まず初めに人材育成委員会ですが、2012年度における会員の減少により「ロム」存続の危機に陥った際、先輩方のご尽力により拡大されて「ロム」の今の道筋を立てて頂きました。5年後には卒業メンバーがこのままでは7名になるということで会員拡大を目指して頑張ってきたところです。今年は23名のスタートになりましたが2月に1名の入会者があり24名で活動・運動しております。人材育成委員会の方の事業計画といたしましては、今月末に異業種交流会というものを開き、様々な業種の方とお会いすることで情報共有

《出席報告》

会員数 48名 出席者数 23名 出席率 47.92 %
前回修正 出席者数 28名 出席率 58.33 %

《メーカーアップ》

杉森 文昭 君・長谷川春海 君・高橋 正人 君
庄司 薫 君・若林 智次 君・高梨 恭行 君
島崎 裕司 君

・交換を行い、さらに次の人材育成セミナーを開きまして、多くのメンバーが集まっていたための異業種交流会を行います。あとは、講師をお招きして資質向上セミナーを開きます。通年を通しての会員拡大のための各事業所の訪問、リストアップをして会員拡大を目指すところです。10名の新入会者を目指します。青少年育成委員会では、高島JCオールスターゲームと題しまして、町内のスポーツ少年団を一齐に集めまして講師をお招きしてクリニックを開き、ナイターでゲームをする事業を行います。ナイターでゲームができることに喜んでもらう為に行っておりますが、高島では照明施設がないため高島に照明施設のあるグラウンドを！と思っております。また、米沢の児童養護施設「興望館」で子ども達の置かれている環境に接することで一緒に子ども達と交流する事業を行います。メイン事業として高島ハロウィンパーティーというものをしており、今年度も計画しております。高島の食文化、商店街の活性化の狙いがあります。会員交流委員会では、ブロック会長を排出したことで、来年度は山形ブロック大会を高島を会場に主管をいたします。ブロック大会へ向けた基盤作り準備をと考えております。また南陽JCとの交流会、理事長杯JCゴルフコンペ、OBとの交流会、置賜4JC合同例会、ブロック大会主管に向けた100%例会を目指しております。

結びになりますが、我々青年会議所は単年度制で毎年役職が変わります。私も理事長職をお預かりするにあたり、様々な葛藤がありましたが、これを成長の場と考え今年一年邁進して参ります。皆様のご協力とご支援がいただけますようお願いをしましてスピーチを終了したいと思います。

ありがとうございました。

次回の例会 [2473th] 2019. 3. 28

ゲストスピーチ

米山 奨 学生

バシヤール・サミウル 君

(世話クラブ:南陽RC 同行:網鉄二カカウンセラー)